

税金の  
使い方  
をただし

# くらし、福祉、子育てに あたたかい市政・市議会へ

## 市民目線で 市政をチエック



日頃よりの温かいご支援ありがとうございます。  
4期16年間、皆さんと力を合わせ、中学校給食の実現や、小学校区ごとの学童保育の公設化、小児医療費助成や妊婦健診の拡充、介護サービスや障がい者施策の充実など、福祉や子育て支援に取り組んできました。

しかし、市長は、福祉や教育予算を大幅に削減し、さらに国保料の毎年値上げなど、市民に犠牲を強いることで財政難を解決しようとしています。市民の健康と福祉・教育は自治体本来の仕事です。財政運営の失敗のツケを市民に回すようなことはするべきではありません。

今やるべきことは、市民にとって不要・不急の事業を見直し、財政の健全化に取り組むことではないでしょうか。市民のくらしを優先する立場で、市政を厳しくチエックし、福祉・教育を後退させないよう全力で取りくみます。

日本共産党市議会議員

はしづめ  
明子

逗子の政治戦 3月25日



橋爪あきこ 2002年初当選以来、市議4期目、副議長、監査委員、総務常任委員会委員長、都市計画審議会委員など歴任、現在は教育民生常任委員会委員長と議会運営委員会に所属。住所 逗子市桜山

## 市民生活犠牲の市政は許しません

願い実現へ新しい市議会でがんばります

日本共産党は、新しい市議 方をただし、くらしと福祉、会で市民犠牲を強める市政と 教育などを拡充するために、キッパリ対決し、税金の使い 全力でがんばります。

- ◎国民健康保険料の連続値上げストップ
- ◎小児医療費助成の所得制限を段階的に廃止
- ◎健康診断の充実と重症化予防対策の強化
- ◎保育園・学童保育の待機児解消を
- ◎介護予防と介護サービスの拡充
- ◎ミニバス路線の拡充など

- 子どもと障がい者、高齢者のプール券復活
- 交通整理員の配置
- 高齢者センター浴場の改修と再開
- 図書館など公共施設の開館時間等の縮小に反対



小児救急など市民が願う病院をつくる交渉を

## ケースワーカーの経験生かし 市民のいのち、福祉に心砕く

1982年から神奈川みなみ医療生協につとめ、逗子診療所設立に参加。ソーシャルワーカー、ケアマネージャーとして医療・福祉・介護の現場で働き、いのちの大切さ、そして介護の切実さと痛みをたくさん教えていただきました。

「住み慣れたまちで暮らし続けたい」この願いはほんとうに切実な思いであり、活動の原点です。障がい者や高齢者、子どもたちが安心して暮らせるまちは、だれもが暮らしやすいまちはではないでしょうか。



くらしの相談活動をつづけています

日本共産党の見解を紹介します。



日本共産党逗子市委員会  
2018年(H30)3月第451号  
事務所 沼間2-15-4 ☎871-1321 FAX871-7969

「市民こそ主人公」がモットー

日本共産党